【参考】災害診療記録標準電子データフォーマットの解説

# はじめに

本書は、災害時の診療録のあり方に関する合同委員会で討議されている「災害診療記録」について、コンピュータシステム等で取り扱う際のデータフォーマット（データ形式）仕様を纏めたものである。

# 検討方針

　　　すでに多くの医療機関で普及している基準や規格に準ずることが望ましいことから、我が国において多くの急性期病院で導入され診療情報管理士が日頃から業務で取り扱っているDPC制度のデータ仕様に習う形で検討が行われた。

# 参照資料

データフォーマットの検討にあたり、参照した資料を「表 **3**‑**1**　参照資料一覧」に示す。

表 3‑1　参照資料一覧

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **資料等の名称** | **発行者等** | **発行日** |
| 平成26年度「DPC導入の影響評価に係る調査」実施説明資料 | 厚生労働省 | 平成26年8月8日版 |

# データフォーマット定義

　　　データフォーマットは「様式１」および、「様式2」の2つ様式で構成する。

　　　様式1については、DPCの様式１に準ずる形とし、様式2についてはDPCのEF統合ファイルに準ずる形とした。

なお、様式1と様式2をそれぞれ別ファイルとし、データ形式等は次のとおりとする。

　　・データ形式： タブ区切テキスト形式。

・日本語はシフトJIS形式。外字は含めない。（単位，名称等）

　・記載不要の場合は空白のままとする。（”0”や” ”(スペース)で埋めない）

　　　　　ただし、個別に必要な場合を除く。

* 1. データフォーマット「様式1」の構造

様式1の構造を次に示す。

・改行コードにより複数レコードで分割され、各レコードの組み合わせで構成される。また、各レコードはヘッダ部およびペイロード部で構成する。ファイルレイアウトを「表 4‑1　様式１ファイルレイアウト」に示す。

　　　・ヘッダ部の構造を「表 4‑2　様式１ヘッダ部の構造」に示す。

　　　・ペイロード部の構造を「表 4‑3　様式１ペイロード部の構造」および、「表 4‑4　ペイロード項目一覧1/6」か　　ら「表 4‑9　ペイロード項目一覧6/6」に示す。

・必須条件の記号の意味を次のとおりとする。

○：無条件で必須

▲：必須でない

　 □：外傷ありで必須

　　　　※：条件付き必須

表 4‑1　様式１ファイルレイアウト



表 4‑2　様式１ヘッダ部の構造



補足：メディカルIDは、「（２）データ識別番号」の先頭9桁と「（４）姓名」で構成される。

表 4‑3　様式１ペイロード部の構造



表 4‑4　ペイロード項目一覧1/6



表 4‑5　ペイロード項目一覧2/6



表 4‑6　ペイロード項目一覧3/6



表 4‑7　ペイロード項目一覧4/6



表 4‑8　ペイロード項目一覧5/6



表 4‑9　ペイロード項目一覧6/6



* 1. データフォーマット「様式2」の構成

様式2の構成を次に示す。

・改行コードにより複数レコードに分割され、レコードの組み合わせにて構成する。また、各レコードはヘッダ部およびペイロード部で構成する。ファイルのレイアウトを「表 4‑10　様式２ファイルレイアウト」に示す。

・ヘッダ部の構造を「表 4‑11　様式２ヘッダ部の構造定義」に示す。

・データ部の構造を「表 4‑12　様式２ペイロード部の構造定義」に示す。

・必須条件の記号の意味を次のとおりとする。

○：無条件で必須

▲：必須でない

　 □：外傷ありで必須

　　　　※：条件付き必須

表 4‑10　様式２ファイルレイアウト



表 4‑11　様式２ヘッダ部の構造定義



補足：メディカルIDは、「（２）データ識別番号」の先頭9桁と「（４）姓名」で構成される。

表 4‑12　様式２ペイロード部の構造定義



# 謝辞

本仕様は産業医科大学医学部公衆衛生学/産業医科大学病院医療情報部及び東京エレクトロニツクシステムズ株式会社の協力により完成された。